

2015 年 7 月 23 日（木）

関係各位

一般社団法人 日本オーディオ協会
会 長 校 條 亮 治

「オーディオ・ホームシアター展 2015」開催のご挨拶

はじめに

梅雨が明けたと思ったら、いきなり猛暑となり、はたまた別の地域では萩が 50 日も早く咲いたり、ススキの穂が出たりとまさに地球が壊れつつあると思いたくなるような状況です。気候は激変の極みですが早いもので、いわゆる「音展」もお台場地区に移ってから 3 回目となり、当「タイム 24 ビル」にて開催の発表をできることを大変嬉しく思います。これも一重に皆様の御支援があつてのものと厚く御礼を申し上げます。

さて、今年の“音展”テーマは「観る！聴く！触る！ハイレゾと 4K シアター」と銘うち「聴くぞ、ハイレゾ！今日から広がる感動新世界」を提案します。昨年 6 月 12 日に日本オーディオ協会は「日本発・世界初」として、新しいオーディオ「ハイレゾ・オーディオ」の世界を提案しました。統一ロゴマークも制定し、米国 CEA ともパートナー契約をして世界に向けて「ハイレゾ・オーディオ」の世界を拡大すべく取り組んできました。お陰様で志を同じくされる当協会への新規入会会員数は 24 社（2015 年 6 月末現在）となり、正会員数においては昨年からはほぼ倍増となりました。結果として、ハイレゾ市場への参入企業数は国内で 34 社（2015 年 6 月末現在）となり、対象会員企業数の 6 割に上っています。認定申請機種数は 400 数十機種程度になっているものと考えられます。そして海外及びソフト業界にもこの動きは着実に広がっています。まだ、スタートしたばかりですので全体から見ればこれからですが、着実に拡大していくものと確信できます。

特に、全く新しい動きとして、これまで業界としてオーディオのカテゴリージャンルとして捉えてこなかった、スマートホン、タブレット、PC、ナス、アプリケーションソフトなど新たな領域が広がりつつあります。我々はこの機を逃すことなく、真正面から歩を進める所存です。特に今次“音展”においては「緊急提言」として「ハイレゾ・オーディオ」によって徹底した“質の向上”を提言します。音楽の世界を単なる“バックグラウンド・ミュージック”の世界から本物の質感ある“感動創造”の世界に戻したいと考えています。それはヘッドホンから大型スピーカーまで、スマホから大型機器に至るまで、全てのステージにおいて“感動創造”を起こすつもりです。各出展社の皆さまにおかれましても、またマスコミの皆様におかれましても絶大なるご支援と、ご協力をお願いするものです。日本オーディオ協会も先頭に立って努力をすることをお約束申し上げます。